

株式会社ホスピタリティエージェント

SDGs 取り組み報告書

---

2025年

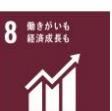


一般社団法人  
Japan noharm Association

## マテリアリティ(重要課題)と取り組みに関連するSDGs

| ESG     | マテリアリティ | 取り組み内容 (2025年実績/2026年目標)   | 関連SDGs   |
|---------|---------|--|--|
| E<br>環境 | 気候変動対策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎二酸化炭素排出削減への取り組み           <ul style="list-style-type: none"> <li>・HA版カーボン算出フォーマットの作成<br/>お客様へ説明できるよう、カーボン算出の理解を深める</li> </ul> </li> <li>◎気候変動に関する社内勉強会の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全社員（1時間/人、年1回）</li> </ul> </li> <li>◎脱炭素への理解度・取り組み進捗テストの実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全社員（全社員80点以上目標、年1回）</li> </ul> </li> </ul>                            | <br><b>7</b> エネルギーをみんなに<br>そしてクリーンに |
|         | 廃棄物削減   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ゴミ削減・リサイクル推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・シュレッター後、リサイクル業者にて回収</li> <li>・2025年の算出量集計結果から、削減への具体的取り組み内容、実績数値、目標数値を策定</li> <li>・リサイクル強化を推進し、工場認証品優先購入</li> <li>・マイボトル/マイ箸利用促進</li> </ul> </li> <li>◎ペーパーレス化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・FAXデータ受信に設定、印刷（紙/インク）資源削減</li> <li>・サプライチェーン全体でパンフレット/カレンダー電子版への移行を依頼（主要取引先へ方針通知/2026年）</li> </ul> </li> </ul> | <br><b>12</b> つくる責任<br>つかう責任        |
|         | 自然環境保全  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎調達方針の策定とバリューチェーンへの協力体制の構築           <ul style="list-style-type: none"> <li>・方針策定、バリューチェーンへのアンケート収集、結果を元に内容修正</li> </ul> </li> </ul>  | <br><b>13</b> 気候変動に<br>具体的な対策を     |

| ESG     | マテリアリティ  | 取り組み内容（2025年実績/2026年目標）   | 関連SDGs  |
|---------|----------|---|---|
| S<br>社会 | 社会活動     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地方自治体との連携・イベント等への参加           <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生SDGs官民連携プラットフォームへの参加</li> <li>・地方創生企業版ワーケーション誘致へ商品設計のコンサルテーション担当として参画<br/>(美唄市2022年、萩市2024年)</li> <li>・エクスカーション(訪問型体験学習)の斡旋に商品設計のコンサルテーション担当として参画<br/>(淡路島2023年、南三陸2020年)</li> </ul> </li> </ul>  |   |
|         | 防災対策     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎防災避難訓練の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回/実施率100%（入社時に実施）</li> <li>・防災意識向上（消火器の使い方、AEDの使い方、上級救命講習会の研修参加など）</li> </ul> </li> <li>◎ハザードマップの活用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィスのある地域は洪水・高潮・土砂災害のいずれもリスクのない地域</li> </ul> </li> <li>◎備蓄・防災セットの完備           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全社員2日間分を2024年より完備(5年に1度見直し)</li> </ul> </li> <li>◎BCP策定           <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災カードの配布、年1回の見直し</li> </ul> </li> </ul> | <br><br><br> |
|         | 多様なサービス  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎バリアフリー、ユニバーサルデザインの採用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料のフォント</li> <li>・点字や色彩の配慮 ご要望に合わせて対応可能な体制の構築（2026年）</li> </ul> </li> </ul>  |   |
|         | パートナーシップ | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ちよだボランティアクラブへの参画 <a href="https://www.chiyoda-vc.com/v-club/">https://www.chiyoda-vc.com/v-club/</a> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付、切手提供、地域ボランティアへの参加（2020年～）</li> </ul> </li> <li>◎みちのく未来基金への参画 <a href="https://michinoku-mirai.org/">https://michinoku-mirai.org/</a> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災の遺児/孤児への進学支援（2011年度～2023年9月末受付終了）</li> </ul> </li> </ul>   |   |

| ESG     | マテリアリティ  | 取り組み内容（2025年実績/2026年目標）  | 関連SDGs  |
|---------|----------|--|---|
| S<br>人材 | 働き方改革    | <p>◎長時間労働の防止<br/>           •DX化による業務効率・生産性向上（定期的な勤怠状況チェック/クラウドサービス活用）<br/>           •平均残業時間（12.88時間）</p> <p>◎DX推進・業務効率化<br/>           •キントーン等の最適活用（施設予約のデジタル管理率を80%に引き上げる/2026年～2027年）</p> <p>◎多様な働き方<br/>           •リモートワーク（全社員：週2回可能/フレックス制の導入/2020年～）<br/>           •コアタイム 11:00-14:00（営業フルフレックス）<br/>           •有給休暇取得の推奨（年間休日数 消化率 66.5%）<br/>           •リフレッシュ休暇制度<br/>           （年間5日以上の有給取得の方に3日間リフレッシュ休暇/年間休日数 消化率 60.9%）</p> <p>◎男女含む育児・介護休暇の取得推進<br/>           •育児休暇：対象者 1名、取得率 100%<br/>           •介護休暇：対象者 0名、取得率 0%<br/>           •対象者への案内：対象者の把握、案内 年1回、実施率 100%</p> | <br><br><br><br><br> |
|         | ウェルビーイング | <p>◎労働安全衛生管理<br/>           •健康診断（健康監察官による定期チェック/全社員年1回 受診率100%）<br/>           •メンタルヘルスチェック（全社員年1回/2025年～専門家の検討）</p> <p>◎Family Day（自然体験イベント）<br/>           •従業員満足度/環境意識の向上（従業員の家族を招いたイベント開催/2026年～予定）</p>   |   |

| ESG     | マテリアリティ   | 取り組み内容（2025年実績/2026年目標）   | 関連SDGs  |
|---------|-----------|---|---|
| S<br>人材 | 人材育成      | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎研修/教育の機会提供           <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入研修（入社時対象者/8時間×20=160時間）</li> <li>・フォローアップ研修（入社3か月後、6か月後、1年後、2年後/全社員に対し8時間）</li> <li>・ヒューマンリソース研修（全社員に対し年3回/20時間）</li> <li>・営業研修（営業職に対し個別OJT）</li> <li>・コーチングのスキル取得の為、外部講師による1o1パーソナルコーチング（対象者に100%実施）</li> <li>・自己研鑽支援制度（業務に係る内容につき50%補助(10万円/年まで)/2026年～）</li> </ul> </li> <li>◎資格取得の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅程管理主任者資格の取得推進（研修受講費の会社負担100%）</li> </ul> </li> <li>◎人事評価・表彰制度           <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、年間「ベストパフォーマンス賞」として評価/表彰</li> <li>・人事評価制度（目標管理シート 半期に1回/目標成果）</li> </ul> </li> </ul> | <br><br><br><br><br> |
|         | ダイバーシティ経営 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎多様な人材の活躍           <ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の高齢者雇用機会の提供</li> <li>・女性活躍推進（女性管理職比率:50%/従業員女性比率:50%）</li> </ul> </li> <li>◎ハラスメント対策           <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則/コンプライアンスガイドライン策定、研修/相談窓口の設置</li> </ul> </li> </ul>  |   |

| ESG       | マテリアリティ      | 取り組み内容（2025年実績/2026年目標）  | 関連SDGs   |
|-----------|--------------|--|--|
| G<br>事業組織 | ガバナンス        | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎コンプライアンス対策           <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則/コンプライアンスガイドライン策定、研修/相談窓口の設置</li> </ul> </li> <li>◎リスクマネジメント強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISMS取得</li> <li>・Pマーク取得時の運用方針継続</li> <li>・リスクマネジメント定期研修（年1回/全社員実施 受講率100%）</li> <li>・旅行業法に準じた運用 BCP策定（年1回見直し）</li> </ul> </li> </ul> | <br><b>11</b> 住み続けられる<br>まちづくりを<br><br><br><b>12</b> つくる責任<br>つかう責任<br><br><br><b>16</b> 平和と公正を<br>すべての人に |
|           | バリューチェーンの構築  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎調達方針の策定（年1回見直し）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステークホルダーへの方針の案内、勉強会の実施</li> </ul> </li> <li>◎リレーション強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナーとの情報共有、サプライチェーンの透明性</li> </ul> </li> </ul>  |  |
|           | ステークホルダーとの対話 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎顧客満足度の向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当によるヒアリング</li> <li>・顧客ニーズに基づくポータルサイトの開発</li> <li>・取引施設を対象としたフォーラム（勉強会および情報交換会）を主催（年1回）</li> <li>・定性評価（～2024年） 定量評価（2025年～）</li> </ul> </li> </ul>   |  |



# CERTIFICATE

## K.K. Hospitality Agent

Upon review of your application and our independent audit, The Japan noharm® Association proudly certifies your contributions to improve global sustainability in the below category. We acknowledge your company's Sustainable Development Goals (SDGs) and that it delivers tangible benefits to society. We look forward to seeing your continued commitment and success to SDGs.



Japan noharm® Association supports Sustainable Development Goals ( SDGs )

---

Number : NH22100027      Date : JAN 18, 2026

Representative Director of Japan noharm® Association : Naoko Kanda

2025年活動は、カーボン算出フォーマットの自社開発や人的資本への継続的な投資など基盤構築がなされたと評価します。今後はこれらの仕組みを運用し、事業を通じて社会へ価値を還元する実践フェーズへの進化を期待しています。

### 【さらなる推進に向けて】

- 人的資本のROI（投資対効果）の可視化

研修時間（Input）の報告に留まらず、成約率の向上や離職率の低下といった具体的な成果（Outcome）をセットで可視化する。

★社員の成長が企業の利益と社会貢献にどう直結しているかをデータ化することで、エンゲージメントがさらに高まります

- サプライヤー行動規範の策定と運用

施設や会場に対し、独自のサステナビリティ遵守状況チェックを実施するなど、サプライヤー行動規範の運用を開始する。

★間接的な環境負荷（Scope 3）への責任を持つ姿勢は、大手企業や自治体からの信頼獲得に直結します

- 法改正を先取りした働きやすさの整備

2026年施行のカスタマーハラスメント対策義務化など時代の変化としていち早くキャッチし、マニュアル整備などを推進する。

★社員が安心して働く環境があつてこそ、お客様に最高のホスピタリティを届けることができます

これを明文化することは、働きがいの達成に大きく寄与します

## 2026年に注目すべき重要法改正と規制動向

### ① カスタマーハラスメント（カスハラ）対策の義務化（2026年10月施行）

「改正労働施策総合推進法」により、2026年10月1日からすべての事業主に対し、カスハラ対策（相談窓口設置やマニュアル整備）が義務化されます。

✓ 現在の「ハラスメント対策」の項目に、具体的な「カスハラ対応指針」は組み込まれていますか？

従業員満足度を守るだけでなく、良質な顧客に選ばれる規律あるホスピタリティの証明にもなります。

### ② 資源有効利用促進法の改正（2026年4月施行予定）

プラスチック資源循環に加え、「再生資源（リサイクル材）の利用義務化」がさらに強化されます。

✓ 取り組み案にある「エコ認証品優先購入」は、まさにこの法改正の先取りです。

2026年には「何を買ったか」だけでなく、「購入した備品のうち、どれだけリサイクル材が含まれていたか」に注目しましょう。数値化（グリーン購入比率）すると、先進性が際立ちます。

| 項目          | メンバーシップ登録情報   |
|-------------|---|
| メンバーシップ登録番号 | NH22100027  |
| 企業名         | 株式会社ホスピタリティエージェント (英語表記 : K.K. Hospitality Agent)                               |
| 業種          | 旅行業   |
| 所在地         | 〒101-0054<br>東京都千代田区神田錦町二丁目5番16号 名古路ビル新館7階                                      |
| TEL         | 03-5755-5510  |
| URL         | <a href="https://hospitality-agent.co.jp/">https://hospitality-agent.co.jp/</a> |
| 担当者氏名       | 清水禎子  |
| Eメールアドレス    | yshimizu@hospitality-agent.co.jp  |
| メンバーシップ有効期間 | 2025/09/19 有効期限 : 2026/09/30  |

当会公式サイトの実践企業にて、企業情報（企業名/業種/URL）とサステナビリティ情報を掲載させていただきます。  
取り組み内容の変更（追加・修正・削除など）があれば、メンバーシップ期間はいつでも更新可能です。  
その他、サービスに関するご意見やご相談などあれば、山野 [yamano@noharm.jp](mailto:yamano@noharm.jp) までお知らせくださいませ。



一般社団法人  
Japan noharm Association